

連続講演会 アジア史のひろば

文学部アジア史コースでは、主に学部生を対象として、アジア史を身近に感じてもらうための連続講演会を開催いたします。講師には、学界や教育・ビジネスの現場の第一線で活躍している方々をお招きして講演していただきます。アジアの歴史・文化・社会に興味のある方は是非ご参加ください。

第一回講演

「アジアを正當に位置づけ日本を完全に組み込んだ世界史」

講師 桃木 至朗 氏（大阪大学大学院文学研究科教授）

日時：2017年6月19日（月）5限（16：30～18：00）

会場：戸山キャンパス 31号館 104教室

※事前予約不要

○講演概要

高校・大学の歴史教育・研究や入試が大きく変わりつつある。その中で求められる「21世紀を生きるための世界史」では、東北アジア・東南アジアなど日本を取り巻くアジア史が決定的な意味をもつ。

その学び方は、細かい知識の暗記でなく「主体的・対話的で深い学び」によって大きな歴史像と考え方を身につけるものでなければならない。皆さんは、その先頭に立つ資格と可能性がある。

○講師略歴

1955年 横浜市生まれ
京都大学文学部卒業
京都大学助手（東南アジア研究センター）
大阪外国語大学専任講師（ベトナム語専攻）
大阪大学助教授（教養部・文学部）などを経て
2001年 大阪大学大学院文学研究科教授

第二回講演

「高校世界史とアジアの歴史

—「発見」・「感動」のある授業とは—

講師 野中 敬 氏（東京都立日比谷高等学校主任教諭）

日時：2017年7月6日（木）4限（14：45～16：15）

会場：戸山キャンパス 31号館 104教室

※事前予約不要

○講演概要

中高生の「アジア史離れ」を嘆く声が聞かれる昨今だが、「発見」・「感動」のある授業を構築できれば、生徒をアジア史の深い学びに導くことが可能だと私は考える。そこで本講演では、実践を踏まえながら高校世界史においてアジアの歴史をいかに扱うかについて論じ、あわせて大学でアジア史を学ぶ意義にも触れてみたい。

○講師略歴

1985年3月 早稲田大学教育学部卒業
1987年3月 早稲田大学文学研究科史学（東洋史）修士課程修了
1988年4月～ 都立高校に奉職、現在に至る。
2016年4月～ 東京都立日比谷高等学校主任教諭

質問がありましたら、39号館4階アジア史コース室へどうぞ！

アジア史コース室

TEL：03-5286-3703(直通)

連絡先：峰雪 幸人（助手）

Mail：cyto-peaksnow@aoni.waseda.jp